



2020年11月10日

各位

会社名株式会社 あさくま
代表者名代表取締役社長 横田 優
(JASDAQ・コード 7678)
問合せ先取締役管理部長 西尾 すみ子
電話番号 052-800-7781(代表)

2021年3月期業績予想並びに剰余金の配当(中間配当無配) 及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年8月11日に公表した「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想並びに剰余金の配当(中間配当無配)及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2020年3月期 通期連結業績予想値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	7,071	△406	△380	△713	△133.37
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減額(%)	—	—	—	—	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	8,849	224	239	69	13.27

(2)理由

新型コロナウイルス感染症拡大による当社の事業活動に及ぼす影響が不透明であり、業績予想の合理的な算定が困難であることから業績予想の公表を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報等を踏まえ、業績予想の算定をいたしましたので、公表いたします。

当社グループの2021年3月期の通期連結業績予想といたしましては、直近の業況と前期3月単月の大幅な落ち込みからは回復することを織り込み、売上高7,071百万円、営業損失406百万円、経常損失380百万円、親会社株主に帰属する当期純損失713百万円を見込んでおります。

新型コロナウイルス感染症は経済活動に深刻な影響を与えており、当社グループにおいても上半期に営業損失を計上するに至りましたが、10月から本格的に始まったGo to キャンペーンにより人の動きが徐々に活発化し、前年を上回る日も出てまいり、今後回復に向かうと考えております。下半期につきまして、当社においては、サービス・商品品質・店舗レベルの向上に更に務め、新型コロナウイルス感染症が何年続いても生き永らえていく経営をしてまいります。連結子会社の株式会社あさくまサクセッションにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により収支が悪化した店舗を中心に退店を進めてまいります。連結子会社の株式会社竹若においては、高級和食という今までの当社グループにない業態を将来のために育ててまいります。一方で、新業種・新業態の開発は行わず、現状のスタイルをしっかり守ってまいります。

これらにより、当社グループの2021年3月期の下半期の連結業績予想といたしましては、営業黒字、経常黒字を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の第3波の懸念もあり、今後の進展等により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 剰余金の配当(中間配当無配)及び配当予想について

(1) 配当の内容

	年間配当額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年8月11日発表)	円 銭 —				
当期実績	—	0.00			
今回発表予想			—	0.00	0.00
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	10.00	—	5.00	15.00

	決定額	直近の配当予想 (2020年8月11日発表)	前期実績 (2019年3月期)
基準日	2020年9月30日	2020年9月30日	2019年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	10円00銭
配当金総額	—	—	52百万円
効力発生日	—	—	2019年12月10日
配当原資	—	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために、必要な内部留保を確保しつつ、収益状況に応じて、株主の皆様への配当を実施することを基本方針としております。

2021年3月期の配当につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況やその影響が不透明であり、前回予想(2020年8月11日発表)では未定としておりましたが、財務状況等を鑑み中間配当につきましては無配といたしました。また、期末配当につきましても無配を予定しております。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上